

みそ 子 ま ち
の たい づ ま ち
の び 子 ま ち

みその気候市民会議からの 提言

2024 年 4 月

みその気候市民会議

みその気候市民会議は、浦和美園駅周辺地区の住民から、年齢、性別、住所(大字・町丁目)のバランスを考慮して選ばれた計18名のメンバーが参加した会議です。3回の会合(2023年12月2日、2024年1月20日、2024年2月10日)を開き、同地区の脱炭素社会の実現に向けた提言をとりまとめました。

以下の提言は、UDCMi(アーバンデザインセンターみその)を拠点とする各種まちづくり事業にできるだけ反映してもらうほか、浦和美園駅周辺地区にお住まいのすべての方々、さまざまな組織・団体・関係者、地区内外の民間事業者、学校など教育研究機関、行政機関(市・県・国)など、それぞれが浦和美園駅周辺地区の脱炭素社会実現に向けて具体的に行動するため、移動(モビリティ)、住まい・建物、生活、防災の4つの分野についてとりまとめました。

私たちの提案を参考にして、できるだけ多くの方々が脱炭素化や気候変動適応策を進めていただき、浦和美園駅周辺地区の脱炭素化が他に先駆けていち早く進み、私たちだけでなく次世代以降も安心して、誇りをもって暮らせるまちへと進化することを期待しています。

2024年3月

みその気候市民会議 参加者一同



(1)移動(モビリティ)分野の脱炭素

移動(モビリティ)分野では、以下4つの提案が特に参加者から支持されました*。

○歩行空間や公園など拠点に「日陰を増やして」、マイカーではなく徒歩による移動を促す

気候変動により夏期の暑熱が懸念されるなか、徒歩での移動を促すため、歩行者の多い駅前の歩道などに通路屋根・シェルターを設置する。また公園など人々が滞留する拠点にも日陰空間をじゅうぶん設けて、夏期でも徒歩による移動を容易にする。

○「歩数に応じたポイント」をキャッシュレス(バーコード)決済の電子マネーに交換できるようにすることで、マイカーではなく徒歩による移動を促す

歩数に応じたポイント付与は「さいたま市健康マイレージ」のほか、「イオンモールアプリ」など民間事業者による取り組みもすでに行われている。それらのより一層のPRのほか、貯まったポイントを日常的に使用する電子マネー(バーコード・QR 決済)等へ交換できるようにすることで、参加・利用しやすくなり、徒歩による移動の促進が期待される。

○浦和美園「駅前に一時利用駐輪場」を整備して、マイカーではなく自転車による移動を促す

自宅から浦和美園駅までの移動で自転車を利用しやすくするため、駅前に駐輪しやすい一時利用駐輪場を整備することが期待される。好きな時に駅まで自転車で行ける自由度が高まれば、マイカーではなく、自転車と鉄道による移動を選択する可能性が高まる。

○周辺拠点駅と浦和美園駅を結ぶ「中距離シャトルバス」を導入して、マイカーではなく公共交通機関の利用を促す

浦和駅、さいたま新都心駅、大宮駅周辺での買い物や業務などに際し、浦和美園駅から鉄道を使って移動しようとする、東川口駅と南浦和駅で2回の乗り換えが必要になる。この乗り換えがネックとなり、結果としてマイカーを利用する動機づけになっている。既存路線便に加えて、各拠点駅と浦和美園駅を結ぶ直行バス(経路上のバス停にほとんど停車しない)が導入されれば、住民の利便性が大きく向上し、マイカーではなく公共交通機関で移動する動機づけになる。

* 各分野についてさまざまな提案を検討した後でアンケートを行い、参加者から特に多くの支持が得られた提案をここに掲載しています。提言書の後半に、すべての提案を掲載しています。

(2)住まい・建物分野の脱炭素

住まい・建物分野では、以下2つの提案が特に参加者から支持されました。

○浦和美園駅周辺地区の住宅におけるCO₂排出削減の成果を、わかりやすく見える形で個人や地区に還元する

高断熱化や屋根上太陽光設置など住宅における脱炭素は、これから浦和美園駅周辺地区へ転入してくる人々も含め、各世帯が判断し、それぞれが自主的に取り組む必要がある。その貢献をわかりやすい形で個人やまちに還元することで、一種のゲーミフィケーション*として、各世帯が脱炭素に取り組む意欲を盛り上げる。たとえば年1回開催の「浦和美園まつり&花火大会」の花火は多くの住民の関心事でシンボル性が高く、CO₂排出削減の量に応じて花火の発数の増やすといった施策が考えられる。

○脱炭素化に向けた取り組みが進んでいるスマートホーム・コミュニティ街区の地区全体への情報発信と見える化で、他の街区の脱炭素化を促進する

浦和美園駅西口ではすでに、スマートホーム・コミュニティ街区において環境性能の特に高い住宅が129戸分譲されているが、エネルギー・環境業界では認知されているものの、住民の多くがその存在について知らない。まずは多くの住民にスマートホーム・コミュニティ街区の存在を認知してもらい、脱炭素・省エネ施策の理解促進・普及を地区全体へと広げることで、地区全体として住宅の脱炭素化をさらに促す。

* ゲームの要素を取り入れることで人々の関心を高めてやる気を引き出す手法



(3)生活分野の脱炭素

生活分野では、以下4つの提案が特に参加者から支持されました。

○浦和美園駅周辺地区について情報がまとまっている**ポータルサイト、掲示板など**により、できるだけ地区内で完結した生活を実現する

アプリによるポイント付与などによって地区内の消費を促進することもできるが、地区内の大規模小売店などによりすでにさまざまなアプリが存在することから、新たにアプリを制作するのではなく、最新の情報をキュレーション(情報収集)したり、各アプリなどにリンクしたりするポータルサイトや掲示板機能が期待される。

○**リユース・リサイクルできる場所**をさらに増やすことで、廃棄物を削減し、CO₂ の排出を抑制する

すでにフリーマーケットや「フードシェア・マイレージ」等の取り組みは存在するが、住民にとってより使い勝手のよい方法を増やすことで、リユース・リサイクルをさらに促進し、廃棄物の焼却や新品の生産・消費に伴う CO₂ の排出を抑制する

○地区内の店舗などで利用できる**共通クーポン券**を発行することで、地区内での消費を促進し、移動に伴う CO₂ 排出を抑制する

浦和美園駅周辺地区の店舗などで幅広く利用できる共通クーポン券を発行し、地区内での消費を促進することで、マイカーでの買い物移動に伴う CO₂ の排出を抑制する。

○公園などに**ポップアップストア**を誘致することで、地区内での消費を促進し、移動に伴う CO₂ 排出を抑制する

すでに美園コミュニティセンターや公園等のオープンスペースを活用したマルシェイベント開催やキッチンカー出店などは行われているが、さらに拡充し、近隣で生産された農産物や地区内の事業者によるサービスを提供することで、生産・輸送に伴う CO₂ 排出を抑制するほか、マイカーでの買い物移動に伴う CO₂ の排出を抑制する。

(4)災害リスク対応(暑熱・水害対策、気候変動適応策など)

防災分野では、以下2つの提案が特に参加者から支持されました。

○駅前に屋根付き歩道の設置、日陰となる街路樹の整備、一時避暑のため気軽に入れる店舗などの誘致により、暑熱の著しい日でも安全に通行できるようにする。

浦和美園駅前の歩道に日陰となる空間が少なく、また現在の街路樹もじゅうぶんな日陰を提供してくれていない(しかも街路樹はすでに根上がりを起こして歩行の障害になっている)。気候変動が深刻化し、暑熱が著しくなった場合でも、駅周辺での徒歩移動を安全快適なものとするため、屋根付きの歩道(通路屋根、通路シェルターなど)が整備されることが望ましい。また、日陰となることを意識した街路樹の整備、気兼ねなく立ち寄れる店舗などにより、猛暑日の歩行環境を総合的に検討し整備する必要がある。

(※移動(モビリティ)分野に類似の提案あり(2 ページ参照))

○防災訓練や関連する情報の提供にインフルエンサー、アンバサダーを利用することで、防災に関する情報をより広く知ってもらうとともに、防災意識を高める。

防災訓練はすでに一部実施されてはいるが、自治会役員以外はほとんど参加しないなど、気候変動によって危惧される洪水時などの対応について、浦和美園駅周辺地区の住民・事業者の理解がじゅうぶんに広まっているとは言えない。できるだけ多くの住民に関心を持ってもらうために、インフルエンサー、アンバサダーといった注目を集めやすい人物を利用して情報提供を行い、防災訓練などのイベントを実施する。



各分野で検討した施策提案の一覧（*アンケートにおける支持の票数）

大分類	気候変動対策としての位置づけ	中分類	小分類	施策アイデアなど	票数*
移動（モビリティ）	人 力 移 動 へ の 転 換 に よ る 脱 炭 素	徒歩	歩行空間の快適性向上	日陰を増やす（公園等拠点＋歩行空間でネットワーク化）	8
				根上がり等で凸凹の道路舗装の補修・改修（とくに美園東、子どもが危ない）	3
				道路沿いの植栽を充実	
			歩行空間の安全性、安心感向上	街灯を増設（綾瀬川遊歩道沿い等）	
				歩道を広くする	
				信号や横断歩道を増設	
			ポイント付与による動機づけ	歩数に応じた地域ポイント等のインセンティブ付与とそのPR	1
				※ポイントを既存のキャッシュレス・バーコード決済などに交換しやすくする	8
			徒歩で外出する動機づけ	スポーツが気軽にできる場所を増やす	
		自転車	走行空間の安全性・快適性向上	自転車歩行者道、交差点滞留部を広くする	
				路面表示など自転車走行空間を明示化する	
				自転車レーン、走行指導帯の充実	
				通学ルートの重点整備・変更、交通整理員の配置（シルバー人材等活用）	
			自転車移動の利便性向上	浦和美園駅前に一時利用駐輪施設を整備	7
				自転車走行空間のネットワークが繋がっていない箇所を解消する	1
			シェアサイクルの利用促進	無料化・クーポン化	1
				利用方法をわかりやすくする、存在をPRする	
			自転車購入の促進	ステーションの増設（とくに美園東）	
				子ども乗せ自転車等の購入費補助の申請要件引き下げ	1
	EV等への転換による脱炭素・排出削減	EV等への転換、低燃費化	自家用車の脱炭素、低燃費化	自家用車を環境配慮型車両（EV、水素など）へ乗換促進 ※乗り換え補助金の充実	1
				カーディーラーが多く立地する特性を生かし、EV体験できる機会増に協力・連携する	1
			公共交通の脱炭素	バス等輸送車両の脱炭素（EV、水素）	
			EV充電スタンド・コンセントの拡充	集合住宅の駐車場にEV充電スタンド・コンセント設置を義務化	3
				EV充電スタンド・コンセントを街なかに増やす（例：電柱ごとに設置、集客施設等の付設駐車場に設置）	

大分類	気候変動対策としての位置づけ	中分類	小分類	施策アイデアなど	票数*
移動(モビリティ)(続)	公共交通利便性の向上による排出削減	バス(大型)	既存バス路線の利便性向上	便数を増やす	3
				地区内のバス停を増やす	
				バス等の運行状況(運行車両位置や遅延情報など)がバス停やアプリ等で分かるようにする	
			鉄道乗り換えの不便さ解消	周辺拠点駅(さいたま新都心駅、大宮駅等)と浦和美園駅とを結ぶ中距離シャトルバスの導入	7
			イベント開催時の転換促進	サッカー開催時のパーク&バスライド導入による渋滞発生箇所分散化	
			バス運行・利用の転換	現在の負のスパイラル(利用減→運行本数減)を正のスパイラルに転換する方法の検討	
		バス(小型)・タクシー	域内交通サービスの利便性向上	コミュニティバス・循環バスの導入(駅までのアクセス)	2
				主要施設(病院、学校)へのアクセス用のバスの導入	2
				オンデマンド交通サービス実証事業(みそのREDタクシー)の本格導入	
				自動運転バスの実験的導入 ※埼玉スタジアム2002公園(以下、埼スタ公園)～浦和美園駅間など	
	公共交通利便性の向上による排出削減(続)	全般	ポイント付与による動機づけ	市民の移動ニーズの把握(アプリやアンケート)	4
			調査による適切な対策の検討	地域ポイント等の乗車インセンティブ付与	1
		カーシェア	シェアモビリティによる自家用車所有の抑制	カーシェア・レンタカーのEV化、水素化(体験機会を増やすことでEV等への転換を促す意味あり)	1
			EVやHVの導入	住宅供給に合わせたカーシェアスポットの増設	
	その他			環境貢献度の高い移動手段・サービス(徒歩・自転車・公共交通 etc)利用者に対する高還元率のポイントの仕組み	1
				地下鉄7号線の延伸に伴う都市開発によるCO2排出増リスクへの対策	
				緑区と岩槻区の施策の連携を高めて一体的なまちづくり(移動手段の整備)を進める	

大分類	気候変動対策としての位置づけ	中分類	小分類	施策アイデアなど	票数*
住まい、建物	再生可能エネルギー導入によるエネルギー源の転換	再生可能エネルギーの利用促進	地域と共生する再生可能エネルギーの導入	地中熱利用(下水熱利用も検討)	1
				太陽光発電(戸建て住宅へのパネル設置)	
				水力発電(河川の流水による中小水力)	
				風力発電(河川敷への設置)	
				浦和美園駅～埼玉スタジアム間の歩行者専用通路への路面太陽光発電の導入	
	脱炭素型住宅の普及による環境負荷の軽減	持続可能な安全な住環境の構築	地域の理解増進	「省エネ」への行動変容効果を個人、まちに還元する(例えば、浦和美園まつり&花火大会の花火が増える…とか)	11
				土地所有者などに脱炭素型開発へのインセンティブ付与	1
				環境に配慮できるデベロッパーの選択	
			緑化への取り組み	土地や建物に緑を増やす取組みができるような区画整備	
			脱炭素型の住宅設計	脱炭素化に向けた取組みがされた先行街区モデルの地域全体への情報発信と見える化	6
				風の通りやすい街区の整備	
				再生可能エネルギーを活用した住宅	
				エネルギーが効率的に使用できる住宅	
				断熱効果の高い住宅	
				省エネ家電の選択	
			サステナブルなまちの維持	資産価値が落ちにくいまちの維持	1
				まち全体の再生可能エネルギーの利用率推移の見える化(機運を高める効果を狙う)	
				不動産価値の見える化	

大分類	気候変動対策としての位置づけ	中分類	小分類	施策アイデアなど	票数*
生活	生産・消費活動が地域内で完結することによる環境負荷の軽減	消費活動	ポイント制度	地域内の買い物でポイント付与	4
				歩数でポイント付与(※移動分野に関連)	1
				ゴミ分別でポイント付与	
				特定施設へのチェックインでポイント付与	
			美園アプリ・買い物	アプリ以外でも情報がまとまっているウェブサービス何か(ウェブ掲示板など) ↳他アプリ・サービスへアクセスできるよう、キュレーション機能(情報まとめ)	9
				地域内の買い物で利用できるクーポン発行	5
				ポイントを管理・使用できる機能	
				地域内の買い物・お店情報の掲載	
				地域内の買い物で特典付与	
				希望する方法で情報を受けとれる(ウェブ・紙選択制など)	
				地域の交流が促進されるような情報共有	
	生産・消費活動が地域内で完結することによる環境負荷の軽減(続)	消費活動(続)	消費活動の利便性向上	公園などでポップアップストアを誘致	5
				埼玉公園や浦和美園駅周辺に商店を増やす	2
				日常生活で利用できる徒歩や自転車などで気軽にアクセス可能な商店を増やす	
				B級グルメの屋台を誘致	
				綾瀬川の遊歩道沿いに商店を誘致	
		廃棄物の削減	リユース・リサイクル	リユース・リサイクル品を集める場の設置	6
				リユース・リサイクル品を購入する場の設置	
		循環経済	地産・地消	常設の農産物直売所の設置	
				農産物購入場所の増加(スーパー内など)	
				特産品の開発	
	その他	教育	教育	制服や上履き等の規格を統一し、転校の際などの再購入の無駄を省略	1
				姉妹都市とのオンライン会議を用いたSDGs教育	
				公立中高一貫校の設立	
				一時的に使用する物品を購入制にせず貸し出し制度にする	
				同名小学校がある札幌市や苫小牧市と姉妹都市を結ぶ(「みその」つながりで連携)	
		観光	脱炭素施策のファンディング	サッカー観戦来訪者等に向けたふるさと納税等の仕組み(CO2削減に関する施策実施の原資へ)	

大分類	気候変動対策としての位置づけ	中分類	小分類	施策アイデアなど	票数*
災害リスク(暑熱、水害)	影響に備える暑熱の適応策	暑熱健康影響の軽減	まちの日除け場所の整備	東口駅前～交差点まで屋根付き歩道、アーケード類の整備	4
				街路樹(ただし根上がり問題あり)	3
				気軽に入れる避暑となるお店等の誘致	3
				まちの各所に日除けスポット等の整備	
			気温を下げる	ミストの設置	
				打ち水イベントの実施	
			ヒートアイランド対応	世帯の植栽管理(ガーデニング、枝うち、ゴミ処理等)を支援、信頼できる業者に複数世帯でまとめて発注	
				緑化・植栽の推進(ただし管理の負担あり)	
				クールシェア(図書館など)	
	リスクを踏まえた防災・減災対策	災害時の対応及び未然防止	防災・減災行動等	インフルエンサーの活用(アンバサダー)	4
				公園等を活用したイベント等による防災訓練の実施 ⇒秋祭りなどのイベントと同時開催	3
				カードゲームを使った防災訓練の実施	
				マンションでも管理組合で防災訓練を実施	
				自治会員以外でも参加できる防災訓練の実施	
				年に一度の避難場所・経路の確認	1
				大雨等に備え、排水の機能を確保するため、日常的に住民による側溝等の掃除	
				水害に対する住民の意識を高める、ハザードマップを見てもらう	
				さいたま市防災アプリの広報・操作性向上(現在は動作が遅い)	
				災害時に機能する自主防災組織を作る	
				ハザードマップを緑区・岩槻区で一体化する	
			災害を踏まえた対策の準備等	災害時に対応の備えがある公園の整備	1
				災害物資の拠点の確保(地域の大型商業施設等)	1
				避難所の耐震化	
	その他			こまめな公園の除草等の環境整備	3

みその気候市民会議 メンバー（五十音順）

大島 凜太郎	斉藤 大輔	戸田 洋輔
小川 瑛人	S. S.	中嶋 薫
金子 真人	佐々木 泰河	H. M.
川上 芽吹	S. T.	M. J.
K. R.	高橋 一将	山口 沙由里
小山 亜美	高橋 涼子	Y. T.

事務局



明治大学公共政策大学院 松浦研究室

〒100-8141 東京都千代田区神田駿河台 1-1

<https://misono2050.net/> mmatsuura@meiji.ac.jp



一般社団法人

美園タウンマネジメント

〒336-0962 さいたま市緑区下野田 494-1 オークリーフ 1 階

<https://www.misono-tm.org/> research@misono-tm.org